Life's Good

取扱説明書

ブルーレイディスク™/DVDプレーヤー

このたびはLG製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
ご理解のうえ正しくお使いください。お読みになったあとは
保証書と共に大切に保管してください。

BP125

http://www.lg.com/jp

1 はじめに

安全にお使いいただくために

注意
感電の危険あり 開けないでください

注意: 本機のカバーを開けないでください。感電の原因となる場合があります。製品内部にはお客様ご自身で修理できる部品はございません。修理が必要な場合は、当社カスタマーサポートセンターまたは、お買い上げの販売店へご相談ください。

正三角形内の稲妻形矢印マークは機器内部の絶縁されていない危険な電圧により感電の危険があることを警告するものです。

正三角形内の「!」の表示は注意を促すマークで、本製品付属の取扱説明書に、操作や補修での重要な指示が記載されていることを示しています。

警告: 異常に温度が高くなるところや、湿気のあるところに設置しないでください。火災の原因になることがあります。

警告: 本機を、本棚などの放熱を防げない狭い場所に設置しないでください。内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

注意: 製品の開口部の前にものを置いたりしないでください。
本機を設置する際には、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく行ってください。キャビネットの溝や開口部は、本製品が正常に動作するためのものであり、製品内部に熱がこもらないようにします。本機を高い場所や、振動や衝撃が起こる場所などに置かないでください。また、本製品を備え付けの本棚やラックなどに設置する場合は、十分な換気性を確保してください。

CLASS 1	LASER PRODUCT
KLASSE 1	LASER PRODUKT
LUOKAN 1	LASER LAITE
KLASS 1	LASER APPARAT
CLASSE 1	PRODUIT LASER
KELAS 1	PRODUK LASER

注意: 本機の内部には、クラス1の可視・不可視レーザー光線が照射されていますので、製品の内部を直接のぞかないでください。

本機のご使用の際には、取扱説明書をよくお読みいただき、誤った使い方をしないでください。

クラス1 レーザー製品
光学器具で直接ビームを
見ないでください。

電源コンセントに関するご注意

コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
また、絶縁体がひび割れているなど損傷のある電源コードは使用することも危険です。機器の電源コードは定期的に点検し、破損や劣化がある場合はコンセントからコードを抜き、製品のご使用を中止し、当社カスタマーサポートセンターへご相談ください。電源コードは、曲げたり、ねじったり、締めつけたり、ドアを閉める際に挟んだり、踏みつけるなどの誤った使い方をしないようご注意ください。電源コンセントとプラグ、およびプラグとコードの接続部分などについては、特にご注意ください。本機を長期間使わないときやお手入れを行うときなどに、主電源を切る場合は、本体の電源プラグを抜いてください。

本機が電源コンセントに接続されているときは、本機の電源スイッチを切っても、電源は接続（スタンバイ）状態になっています。

本機は主電源プラグを遮断装置として使用しております。主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置へ容易に手が届くようにして下さい。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

注意： 製品識別及び定格電圧を含む安全表示については、装置の底面または裏面にあるメインラベルを参照してください。

このデバイスに提供されているACアダプターのみを使用してください。他のデバイスまたは製造業者からの電源は使用しないでください。他の電気ケーブルまたは電源を使用すると、デバイス損傷の原因となり、お客様への保証が無効になることもあります。

著作権に関するご注意

- Blu-rayディスク フォーマットの規格は、著作権保護技術である AACS (AdvancedAccess Content System) に承認されているため、DVD フォーマットでの CSS (ContentScramble System) と同様、AACS で保護されたコンテンツの再生やアナログ信号出力などに特定の制限が課せられています。本製品の生産後にAACS により承認か変更、またはその両方が行われる可能性があるため、お客様の購入時期により製品の動作や制限が異なります。
- また、Blu-rayディスク フォーマットの著作権保護技術として BD-ROM Mark や BD+ も採用されており、BD-ROM Mark か BD+、またはその両方にて保護されたコンテンツでは、再生制限などの特定の制限が課せられています。AACS、BD-ROM Mark、BD+、または本製品に関する詳細については、カスタマーサービスセンターにお問い合わせください。
- BD-ROM や DVD ディスクの多数が複製防止のために暗号化されています。
  このためプレーヤーは、直接テレビと接続し、ビデオは接続しないでください。ビデオに接続すると、不正コピー防止機能のディスクで画像が乱れる原因となります。
- 本製品は、米国特許及び他の知的財産権によって保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用にはRovi Corporationによる認可が必要であり、Rovi Corporationの認可なしでは、一般家庭用または用途の限られた視聴のみに使用されるようになっています。解析や分解は禁止されています。
- 米国著作権法およびその他の国の著作権法の下で、無断で録音•録画、利用、展示、頒布をすること、またテレビ番組、ビデオテープ、BD-ROM ディスク、DVD、CD やその他の媒体の編集をすることは、民事や刑事責任またはその両方を科せられる場合があります。

目次

1 はじめに

2 安全にお使いいただくために
6 はじめに
6 – 再生可能なディスク、およびこの取扱説明書で使用される記号
7 –「⊘」記号の表示について
7 – ご注意
8 – ファイルの要件
9 – AVCHD規格 (AdvancedVideo Codec HighDefinition)
10 – 必要なシステム環境
10 – リージョンコード
10 – 付属品
11 リモコン
12 本体前面
12 本体後面

2 接続

13 ACアダプターの接続
13 テレビへ接続する
13 – HDMI の接続
14 – SIMPLINKとは?
15 – 解像度の設定
16 アンプとの接続
16 – HDMI 出力とアンプを接続する
17 – デジタル音声出力端子とアンプを接続する
18 USB機器の接続
18 – USB機器のコンテンツの再生

3 システムの設定

19 設定
19 – 初期設定
19 – セットアップ設定の調整
20 – [表示]メニュー
21 – [言語] メニュー
22 – [オーディオ] メニュー
23 – [ロック] メニュー
24 – [その他] メニュー

4 操作

25 一般的な再生
25 – [HOME]（ホーム）メニューの使用
25 – ディスクを再生する
25 – ディスク/USB機器のファイルを再生する
26 – ビデオおよびオーディオ コンテンツの基本操作
26 – 写真コンテンツの基本操作
27 – ディスクメニューの使用
27 さまざまな再生
27 – リピート再生
28 – 区間指定のリピート
28 – コンテンツ情報を見る
28 – コンテンツリストの表示を変更する
29 – 字幕ファイルを選択する
29 – 写真表示のオプション
30 – 音楽を聴きながらスライド ショーを楽しむ
30 コンテンツ情報を確認する
30 – コンテンツ情報を画面に表示する
31 – タイムサーチ再生
31 – 字幕言語を選択する
32 – 音声を切り換える
32 – 別アングルの映像を見る
32 – テレビの縦横比を変更する
33 – 字幕コードページを選択する
33 – 画像モードを変更する
34 オーディオCDの録音

5 困ったとき

35 困ったとき
35 – 一般
36 – 画像
36 – ソフトウェアのアップデートについて

6 その他

37 付属のリモコンでテレビを操作する
37 – リモコンにお使いのテレビを設定する
38 エリアコード一覧
39 言語コード一覧
40 商標およびライセンス
41 – オープン ソース ソフトウェアの通知
42 オーディオ出力の仕様
44 仕様
45 お手入れについて
45 – 使用上のご注意
45 – ディスクについてのご注意

はじめに

再生可能なディスク、およびこの取扱説明書で使用される記号

メディア/用語	ロゴ	記号	説明
Blu-ray	Blu-ray Disc	BD	• 販売やレンタルされた映画などのディスク • BDAV形式で録画されたるBD-R/REディスク
		MOVIE MUSIC PHOTO	• 映画、音楽、または写真ファイルが記録されたBD-R[*1]/REディスク • ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式
DVD-ROM DVD-R DVD-RW DVD+R DVD+RW (8 cm, 12 cm)	DVD VIDEO DVD R DVD RW RW DVD+R RW DVD+ReWritable	DVD	• 販売やレンタルされた映画などのディスク • ムービーモードで記録され、ファイナライズされたディスク • ２層式再生対応 • AVCREC フォーマットで記録された DVD-R/DVD-RW ディスク
		AVCHD	AVCHD 規格でファイナライズされたディスク
		MOVIE MUSIC PHOTO	• 映画、音楽、または写真ファイルが記録されたDVD±R ディスク • ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式
DVD-RW (VR) (8 cm, 12 cm)	DVD RW	DVD	VRモードで記録され、ファイナライズされたディスクのみ
Audio CD (8 cm, 12 cm)	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	ACD	オーディオCD
CD-R/RW (8 cm, 12 cm)	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable ReWritable	MOVIE MUSIC PHOTO	• 音楽タイトル、映画、音楽、または写真ファイルが記録された CD-R/RW ディスク • ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式
注記	–	!	特定の注意と操作の特徴を示します。
注意	–	⚠	乱暴な取り扱いによる故障を防ぐための注意を示します。

* 1 : LTHタイプも再生できます。

! 注意

- 記録装置の条件やCD-R/RW、DVD±R/RW、またはBD-R/REディスク自身がもつ機能に応じて、CD-R/RW、DVD±R/RW、またはBD-R/REディスクは本機では再生できないものがあります。
- ディスクが破損したり汚れ、または本機レンズ上の汚れや結露がある場合はパソコンやDVDまたはCDレコーダーを使用して記録されたBD-R/RE、DVD±R / RWおよびCD-R/RWディスクは再生できない場合があります。
- パソコンを使用してディスクを記録する場合は、それが互換性のある形式で記録されている場合でも再生できないことがあるケースがあります。この場合、詳細についてはご使用の記録ソフトウェア側の仕様をご確認ください。
- 最適な再生品質でコンテンツをお楽しみいただくには、一定の技術基準に合わせて記録されたメディアやディスクなどをご使用ください。
- あらかじめ収録されている DVD は、これらの基準が自動的に設定されています。記録可能なディスクのフォーマットには、多数の種類（MP3 や WMA のファイル名の拡張子が付いた CD-R など）がありますが、再生の互換性を保つために、これらには特定の決まった条件があります。
- インターネットからのダウンロードコンテンツは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどに送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されていますので、ご注意ください。なお、著作権法違反によって生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いませんので、自己責任のもとでご利用ください。
- 書き換え可能なディスクをフォーマットする際に当社製のプレーヤーと互換性のあるディスクを作成するには、ディスクフォーマットの項目を［マスタ］に設定する必要があります。項目が ライブシステム に設定されている場合は、当社製のプレーヤーでディスクを使用することはできません。
(マスタ/ライブファイルシステム：Windows Vista でのディスクのフォーマット形式)

「⊘」 記号の表示について

操作中でのテレビ画面に、「⊘」が表示されたときは、この取扱説明書で説明されている機能が、その特定のメディアで利用できないことを示しています。

ご注意

- 本機は、ピクチャー・イン・ピクチャー（PIP）、セカンダリーオーディオおよび仮想パッケージなどのようなBD-ROMがサポートしているBONUSVIEW（BD-ROMのバージョン2プロファイル1バー ジョン1.1）を楽しむことができます。セカンダリービデオとオーディオは、PIP機能に対応し、ディスクから再生することができます。再生方法については、ディスク側の取扱説明書などをご参照ください。
- DVDコンテンツのアップコンバートを行ったり、より高画質の映像を楽しむには、HDMI接続を行うか、またはHDCP規格に対応するDVI入力での接続が必要です。
- BD-ROMやDVDディスクの仕様によっては、機能や操作の一部をご利用いただけない場合があります。
- HDMI接続での音声出力は、DolbyTrueHD、Dolby Digital PlusやDTS-HDの場合、最大7.1チャンネルまで対応します。

ファイルの要件

動画ファイル

ファイル場所	ファイル拡張子	Codec形式	Audio 形式	字幕
ディスク、USB	「.avi」,「.divx」,「.mpg」,「.mpeg」,「.mkv」,「.mp4」,「.asf」,「.wmv」,「.m4v」(DRMフリー),「.vob」,「.3gp」	DIVX3.xx, DIVX4.xx, DIVX5.xx, DIVX6.xx (標準再生のみ), XVID, MPEG1 SS, H.264/MPEG-4 AVC, MPEG2 PS, MPEG2 TS, VC-1 SM (WMV3)	Dolby Digital, DTS, MP3, AAC, AC3	SubRip (.srt / .txt), SAMI (.smi), SubStation Alpha (.ssa/.txt), MicroDVD (.sub/.txt), VobSub (.sub), SubViewer 1.0 (.sub), SubViewer 2.0 (.sub/.txt), TMPlayer (.txt), DVD Subtitle System (.txt)

音楽ファイル

ファイル場所	ファイル拡張子	サンプリング周波数	ビットレート	ご注意
ディスク、USB	「mp3」,「.wav」,「.m4a」(DRMフリー),「.flac」	16 - 48 kHz (MP3)の範囲内	32 - 320 kbps (MP3)の範囲内	WAV ファイルの中には、本機でサポートされないものもあります。

写真ファイル

ファイル場所	ファイル拡張子	推奨サイズ	ご注意
ディスク、USB	「.jpg」,「.jpeg」,「.png」,「.gif」	4000 x 3000 ピクセル/24 ビット未満、 3000 x 3000 ピクセル/32 ビット未満	プログレッシブと可逆圧縮(ロスレス圧縮)の写真ファイルには対応していません。

! 注意

- ファイル名は180文字に制限されています。
- 最大ファイル/フォルダー：2000個未満（ファイルとフォルダーの合計数）
- メディアを読み込む際には、記録されたファイルの数やサイズに応じて時間がかかる場合があります。
- 本書に記載されたファイル仕様は、すべての使用環境において互換性を保証するものではありません。メディアやファイルの仕様などによっては、正常に動作しない場合もあります。
- 本機は、MP3ファイルが埋め込まれたID3タグには対応していません。
- VBR方式で作成された音楽ファイルの場合、合計再生時間が正しく表示されないことがあります。
- CD / DVDまたは1.1バージョンまでのUSBに記録されたHD動画ファイルは、正しく再生されない場合があります。HD動画ファイルを再生する際には、ブルーレイディスクまたはUSB 2.0以上の記録メディアのご利用をおすすめします。
- 本機はレベル4.1で、H.264/MPEG-4 AVCのプロファイルに対応しています。さらに高いレベルに合わせて作成されたファイルを再生する場合は、画面上にその旨をお知らせするメッセージが表示されます。
- 本機は、GMC*1またはQPEL*2で記録されているファイルには対応していません。

  * 1 GMC - グローバル動き補償

  * 2 QPEL - クォーターピクセル

! 注意

- 「WMV 9コーデック」でエンコードされた「AVI」ファイルには対応していません。
- Unicode字幕の場合、本機はUTF-8形式を認識します。純粋なUnicode字幕ファイルには対応していません。
- ファイルの種類や記録の方法に応じて、再生できない場合があります。
- マルチセッションで記録されたディスクの再生には対応していません。
- 動画ファイルを再生するためには、動画ファイルの名前と字幕ファイルの名前が同じでなければなりません。
- ビデオコーデックがMPEG2のTSまたはMPEG2 PSである場合、字幕は再生されません。

AVCHD規格 (AdvancedVideo Codec HighDefinition)

- 本機は、AVCHD規格で記録されたディスクを再生できます。この規格のディスクは、主にビデオカメラの録画などで使用されます。
- AVCHD 規格は、ハイビジョンデジタルビデオカメラの記録方式です。
- MPEG-4 AVC/H.264 フォーマットは、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮率で画像を圧縮することができます。
- 本機は、「x.v.Color」規格を採用しているAVCHD ディスクを再生できます。
- 記録状態によっては、再生できない AVCHD 規格のディスクもあります。
- AVCHD 規格のディスクは、ファイナライズする必要があります。
- 「x.v.Color」は、通常の DVD ビデオカメラのディスクと比べ広い色域を提供できます。

必要なシステム環境

高精細映像を再生するには：

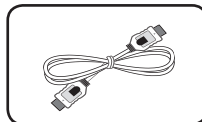
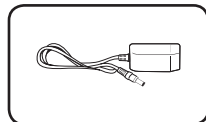
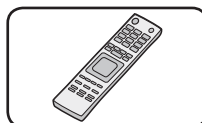
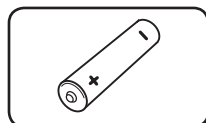
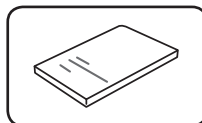
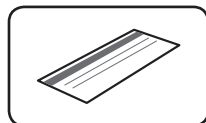
- HDMI 入力に対応する高解像度ディスプレイをおすすめします。
- 高解像度コンテンツを収録した BD-ROM ディスクをご用意ください。
- コンテンツによっては、HDMI または HDCP対応 DVI 入力端子のあるディスプレイ機器が必要な場合があります（これらは、ディスクの作成者によりあらかじめ指定されています）。

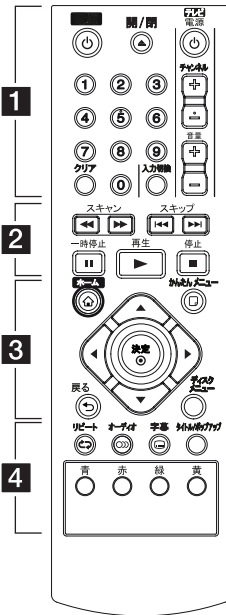
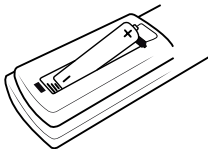
ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS-HD などのマルチチャンネルオーディオの再生には：

- アンプやレシーバーに、デコーダー (ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS、DTS-HD) が搭載されている必要があります。
- 選択したオーディオフォーマットに対応するメインスピーカー、センタースピーカー、サラウンドスピーカー、およびサブウーファーが必要です。

リージョンコード

本機の背面には、リージョンコードが印刷されています。本機では、背面に印刷されたラベルと同じリージョンコード、またはリージョンコード「ALL」のBD-ROM、DVD ディスクのみ再生することができます。

付属品

HDMIケーブル

ACアダプター
(WA-12M12FU)

リモコン (1個)

乾電池 (単4形 1本)

取扱説明書
(本書)（1部）

保証書（1部）

リモコン

電池を入れる

リモコンの裏にあるバッテリーカバーを外し、単4形電池（R03/AAA）を正しい⊕と⊖向きに入れてください。

• • • • • • • • 1 • • • • • • •

⏻ (電源): 本機の電源をオン/オフします。

⏏ (開/閉): ディスクトレイの開/閉をします。

0〜9 番号ボタン: メニューの項目番号を選択します。

クリア: 検索メニューのマークや設定したパスワードの番号を解除します。

TV コントロールボタン: 36 ページをご覧下さい。

• • • • • • • • 2 • • • • • • •

◀◀ / ▶▶ (スキャン): 早送り/早戻しをします。

⏮ / ⏭ (スキップ): 前や次のチャプター/トラック/ファイルに進みます。

II (一時停止): 再生を一時停止します。

► (再生): 再生を開始します。

■ (停止): 再生を停止します。

• • • • • • • • 3 • • • • • • •

ホーム (⌂): [ホームメニュー]を表示/終了します。

かんたんメニュー(□): 再生する映像を表示/終了します。

方向ボタン: メニューの項目を選択します。

決定(⊙): 選択したメニューを決定します。

戻る (⮌): メニューの終了または前の画面に戻ります。

ディスクメニュー: ディスクのメニューを表示します。

• • • • • • • • 4 • • • • • • •

リピート(⟲): 選択したセクションやシーケンスを繰り返し再生します。

オーディオ(◯))): 音声言語や音声チャンネルを選択します。

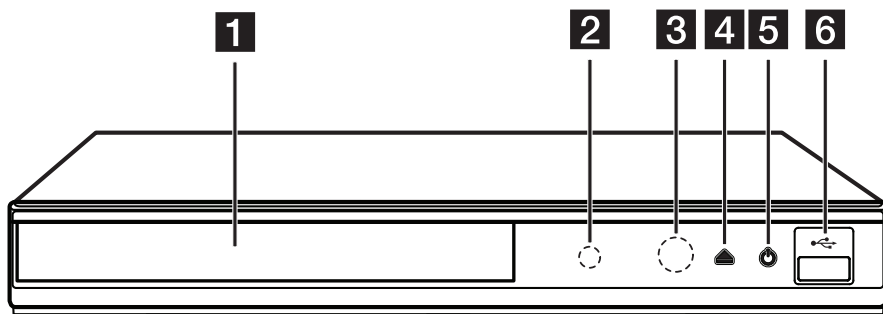
字幕 (⋯): 字幕の言語を選択します。

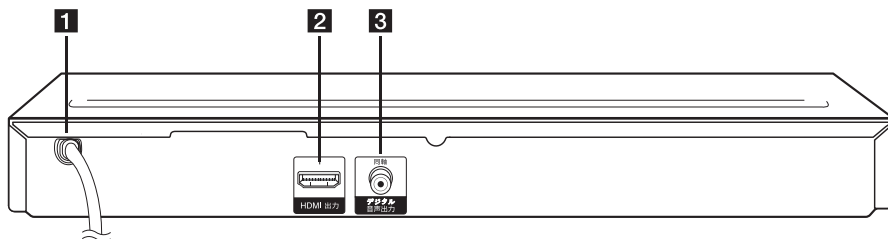
タイトル/ポップアップ: DVD のタイトルメニューや BD-ROM にポップアップメニューがある場合は表示します。

カラー (青, 赤, 緑, 黄) ボタン: BD-ROMをナビゲートするのに使用します。それらは[動画]、[写真]、および [音楽]用にも使用されます。

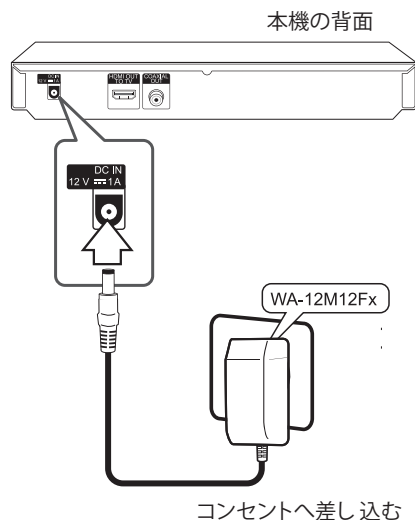
1

はじめに

本体前面

1 ディスクトレイ
2 パワーランプ
3 リモコン受信部
4 ⏏ (開/閉)
5 ⏻ (電源)
6 USB 端子

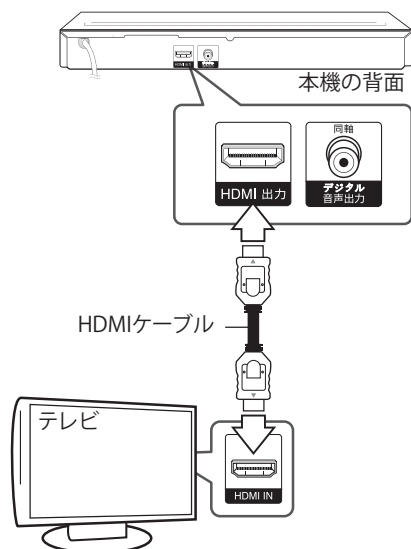
本体後面

1 DC 12V IN（ACアダプター入力）
2 HDMI 出力
3 デジタル音声出力 (同軸) 端子

ACアダプターの接続

付属のACアダプターで本機を電源に接続します。

> **注意**
>
> 本機に付属のACアダプターのみをご使用ください。他のデバイスまたは製造業者からの電源は使用しないでください。他の電気ケーブルまたは電源を使用すると、デバイス損傷の原因となる場合があります。このような場合に生じた直接・間接的損害について、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

テレビへ接続する

HDMI の接続

HDMI 入力端子のあるテレビやモニターをお持ちの場合は、同梱の HDMI ケーブル(Aタイプ、High Speed HDMI ケーブル)を使用して本機に接続することができます。本機のHDMI端子を、HDMI 対応のテレビやモニターの HDMI 端子に接続します。

ディスプレイ機器（テレビやモニターなど）の表示画面をHDMI入力に切り換えます（ディスプレイ機器側の取扱説明書をご参照ください）。

> **注意**
>
> ご使用されているさまざまな機器と本機を正しく接続するには、本書と合わせて、それぞれの接続機器の取扱説明書をご確認ください。

HDMI 接続でのご注意

- HDMI や DVI 対応の機器に接続する場合は、次のことをご確認ください。
  - 最初に、本機と HDMI/DVI 機器の電源を切ります。次に、HDMI/DVI 機器の電源を入れ、30秒ほど待ってから本機の電源を入れます。
  - 接続した機器側の設定画面から、映像入力が正しく本機に設定されていることを確認します。
  - 接続する機器は、720x480p、1280x720p、1920x1080i、1920x1080p の解像度の映像入力に対応している必要があります。
- HDCPに対応するすべてのHDMI/DVI機器に対して、動作を保証するものではありません。
  - HDCPに対応しない機器では、画像が正しく表示されない場合があります。

注意

- 接続されたHDMI対応機器が本機の音声出力に対応しない場合、HDMI対応機器からの音声が正常に出力されないことがあります。
- HDMI接続を使用するときは、HDMI出力の解像度を変更することができます。（15ページの「解像度の設定」をご参照ください）。
- [設定]メニューの[HDMIカラー設定]オプションを使ってHDMI 出力端子のビデオ出力タイプを選択します。（21ページ）
- 最新 High Speed HDMI ケーブル（長さ4.5m以内のもの）の使用をおすすめします。

SIMPLINKとは?

SIMPLINKロゴのあるHDMI-CECおよびARC（オーディオリターンチャンネル）対応のテレビをHDMIケーブルで本機に接続すると、テレビのリモコンで機器を操作することができます。SIMPLINKロゴがないHDMI-CEC対応のテレビには対応していない場合があります。

テレビのリモコンのので操作できる本機の機能は、再生、一時停止、スキップ、停止、電源オフなどです。

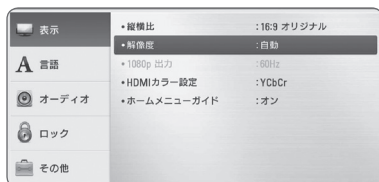
SIMPLINK機能の詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。

注意

ディスクの種類や再生状況に応じて、いくつかのSIMPLINK機能が正常に動作しないことがあります。

解像度の設定

本機では、HDMI接続時に出力する映像の解像度を変更することができます。

1. ホーム (🏠) を押します。
2. ◀/▶を使って、[設定]を選択して決定(⦿)を押します。[設定]メニューが表示されます。
3. [表示] の項目を選択するために、▲/▼ を使い、決定(⦿)を押して第 2 階層へと移動します。
4. [解像度] の項目を選択してから、▲/▼ を使い、決定(⦿) を押して第 3 階層へと移動します。

5. ▲/▼でお好みのの解像度を選択してから、決定(⦿)を押して設定を終了します。

注意

- お使いのディスプレイ機器（テレビやモニターなど）が、本機に設定されている解像度に対応しない場合は、次の手順で480pの解像度に設定することができます。
  1. ディスクトレイを開くには、⏏ を押します。
  2. ■ (停止)を5秒以上押します。
- HDMI接続で480iの解像度を設定すると、実際の解像度は480pとして出力されます。
- 手動で解像度を選択してからテレビにHDMI端子を接続した時、お使いのテレビがその解像度に対応していない場合は、解像度は[Auto]に切り換わります。
- テレビが本機の解像度に対応していない場合は、画面上にお知らせメッセージが表示されます。この場合、解像度の設定を変更してから、20秒ほどお待ちください。解像度は自動的に以前の解像度に戻ります。
- 1080pビデオ出力のフレームレートは、ご使用のディスプレイ機器の性能またはコンテンツ本来のフレームレートに基づいて、自動的に24 Hzまたは60 Hzのいずれかに設定されます。

アンプとの接続

接続する機器側の接続端子を確認してから、次のいずれかの方法で接続します。

- HDMI 端子との接続 (16ページ)
- デジタル音声出力端子との接続(17ページ)

さらに詳細な情報については、「オーディオ出力の仕様」をご参照ください。(42 ページ)

デジタルマルチチャンネルサウンドについて

デジタルマルチチャンネルによる接続で、さらに高品質のサウンドをお楽しみいただけます。この接続には、次のうちいずれかのオーディオフォーマットに対応するマルチチャンネルオーディオまたはビデオレシーバーが必要です。

・PCM ステレオ

・PCM マルチチャンネル

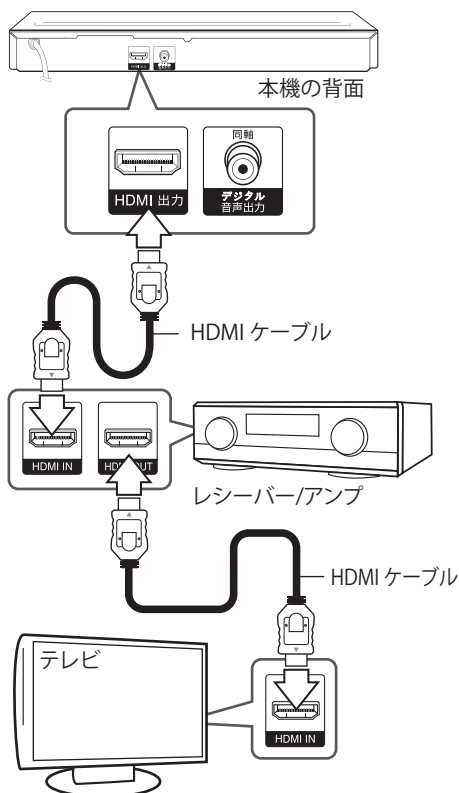
・ドルビーデジタル

・ドルビーデジタルプラス

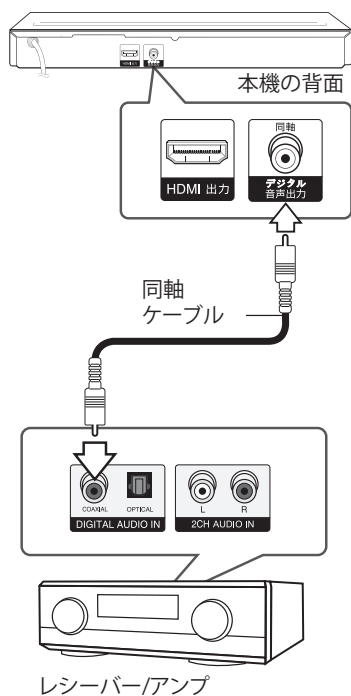
・ドルビーTrueHD

・DTSまたはDTS-HD

HDMI 出力とアンプを接続する

お持ちのアンプにHDMI 出力端子が搭載されている場合は、HDMI ケーブルを使って、アンプのHDMI出力端子をテレビのHDMI入力端子に接続してください。

ケーブルの接続を完了してから、本機のデジタル音声出力の設定を行います。(22ページ)

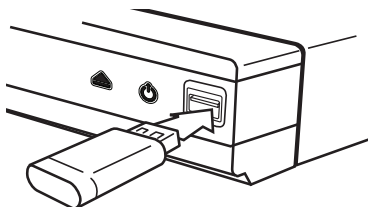
デジタル音声出力端子とアンプを接続する

デジタルオーディオケーブルを使って、本気のデジタル音声出力端子とアンプの対応する端子（同軸）に接続します。

ケーブルの接続を完了してから、本機のデジタル音声出力の設定を行います。（22ページ）

USB機器の接続

本機では、USB機器に記録された映画、音楽、および写真ファイルを再生できます。

USB機器のコンテンツの再生

1. USB機器をUSB 端子にしっかり奥まで差し込みます。

USB機器にさまざまな種類のファイルが記録されている場合は、ファイルの種類を選択するメニューが表示されます。

USB機器に保存されたコンテンツの数によっては、ファイルの読み込みに数分かかることがあります。読み込みを停止するには、[取り消し] を選択し、決定(⦿) を押してください。

2. ホーム ( ) を押します。
3. ◀/▶で[動画]、[写真]、または[音楽]項目を選択してから、決定(⦿)を押します。
4. ▲/▼で [USB] 項目を選択してから、決定(⦿) を押します。

5. ▲/▼/◀/▶でファイルを選択し、決定（⦿）を押します。

> **注意**
>
> - 本機は、USB機器使用の際に、FAT16、FAT32およびNTFS形式のファイルに対応していますが、ブルーレイコンテンツの場合は、FAT16とFAT32のみ対応します。ブルーレイコンテンツをお楽しみの際には、FAT16とFAT32形式ファイルが記録されたUSB機器をご利用ください。
> - 本機で対応できるUSB機器のパーティションの数は、最大4 つまでです。
> - 再生などの操作中はUSB機器を取り外さないでください。
> - パソコンに接続すると追加プログラムのインストールが必要となるUSB機器には対応していません。
> - 本機はUSB1.1 およびUSB2.0 に対応しています。
> - データの損失を避けるために、定期的なバックアップをおすすめします。データの損傷、損失や直接または間接の損害について、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
> - USB 延長ケーブル、USB ハブ、またはUSBMulti-readerを使用すると、USB機器が認識されないことがあります。
> - すべてのUSB機器との動作を保証するものではありません。
> - デジタルカメラや携帯電話などには対応していません。
> - 本機のUSB 端子にパソコンなどを接続することはできません。本機をストレージデバイスとして使用することはできません。

設定

初期設定

初めて本機に電源を入れると画面に初期設定ウィザードが表示されます。初期設定ウィザードで表示言語を設定します。

1. ⏻ (テレビ 電源)を押します。

   初期セットアップウィザードが画面に表示されます。

2. ▲/▼/◀/▶ を使って表示言語を選択し、決定(⦿)を押します。

3. 1つ前のステップで設定した設定をチェックします。

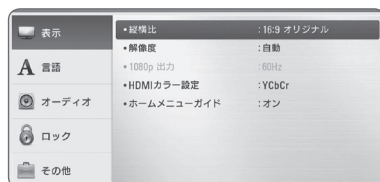
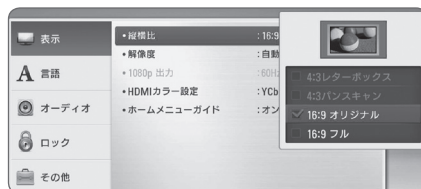
   初期設定の設定を完了するために[完了]がハイライトされているときに決定(⦿)を押します。変更したい任意の設定がある場合、◀/▶ を使って[戻る]を選択し、決定(⦿)を押します。

セットアップ設定の調整

[設定]メニューで本機の設定を変更することができます。

1. ホーム (🏠) を押します。

2. ◀/▶ で[設定]を選択して決定(⦿)を押します。[設定]メニューが表示されます。

3. ▲/▼ で最初の設定項目を選択してから、決定(⦿)を押して第2 階層へと移動します。

4. ▲/▼ で第2階層の設定項目を選択してから、決定(⦿)を押して第3 階層へと移動します。

5. ▲/▼ で希望する設定を選択してから、決定(⦿)を押して設定を終了します。

[表示]メニュー

縦横比

お持ちのテレビのタイプに対応する、テレビの縦横比項目を選択してください。

[4:3レターボックス]

4:3 のアスペクト比である従来サイズのテレビが接続されている場合に選択します。ワイドスクリーンの画像では、上下に黒帯が付いた状態で映像を表示します。

[4:3パンスキャン]

4:3 のアスペクト比である従来サイズのテレビが接続されている場合に選択します。ワイドスクリーンの画像では、テレビ画面に映像が収まるように映像の両側が切り落とされて表示されます。

[16:9オリジナル】

16:9 のアスペクト比であるテレビが接続されている場合に選択します。4:3 の映像では左右の両側に黒帯が付いた状態で、オリジナルの4:3 アスペクト比で表示されます。

[フル16:9]

16:9 のアスペクト比であるテレビが接続されている場合に選択します。4:3 の映像は、テレビ画面の全体に合わせるために水平方向(左右)に引き伸ばされます。解像度が720p 以上に設定されている場合は、[4:3レターボックス]と[4:3パンスキャン]の項目は選択できません。

! 注意

解像度が720p以上に設定されている際は、[4:3レターボックス]と、[4:3パンスキャン]のオプションを選択できません。

解像度

HDMI の映像信号の出力解像度を設定します。解像度設定についての詳細は、15ページをご参照ください。

[自動]

HDMI 出力端子が、ディスプレイの基本情報を提供するテレビ(EDID) に接続されていると、接続されているテレビに最適な解像度を自動的に選択します。

[1080p]

1080 本のプログレッシブ(順次走査) 映像出力です。

[1080i]

1080 本のインターレース(飛び越し走査) 映像出力です。

[720p]

720 本のプログレッシブ(順次走査) 映像出力です。

[480p]

480 本のプログレッシブ(順次走査) 映像出力です。

[480i]

480 本のインターレース(飛び越し走査)映像出力です。

1080pモード出力

解像度を 1080p に設定した場合、1080p/24 Hz 入力に対応した HDMI 端子のあるディスプレイで映画のフィルム映像(1080p/24 Hz) をスムーズに表示するには、[24 Hz] を選択します。

! 注意

- [24 Hz]を選択した場合、映像の切り替えの際に、画像の乱れが発生することがあります。このような場合は、[60 Hz]に変更してください。
- ご使用のテレビなどが1080p/24 Hzの出力に対応していなくても、本機で[1080ディスプレイモード]が[24 Hz]に設定されている場合は、出力する1080p/24 Hz 映像コンテンツのフレーム周波数は変わりません。

HDMIカラー設定

HDMI 出力 端子からの出力の種類を選択してください。この設定については、お持ちのディスプレイ機器の取扱説明書を参照してください。

[YCbCr]

HDMI 対応のディスプレイ機器への接続時に選択します。

[RGB]

DVI ディスプレイ機器への接続時に選択します。

ホームメニューガイド

この機能を使用すると、ホームメニューのガイドバブルを表示したり、削除することができます。ガイドを表示する場合はこのオプションを[オン]に設定します。

[言語] メニュー

表示メニュー

[設定]メニューとオンスクリーンディスプレイの言語を選択します。

ディスクメニュー言語/ディスク音声言語/ディスク字幕言語

オーディオトラック（ディスクオーディオ）、字幕、そしてディスクメニューで表示したい言語を選択します。

[オリジナル]

ディスクが収録された時に使用された元の言語を参照します。

[その他]

決定(⦿)を 押して別の言語を選択します。39 ページ に記載された言語コードから表示したい言語の4 桁数字を数字ボタンを使って入力し、決定(⦿)を押してください。

[オフ] (ディスク サブタイトルのみ)

字幕を消します。

! 注意

ディスクに応じて、言語設定が作動しない場合があります。

[オーディオ] メニュー

各ディスクで、いろいろなオーディオ出力の選択ができます。お持ちのオーディオシステムの種類に応じて、本機のオーディオ項目を設定してください。

> **注意**
>
> 多くの要因が、オーディオ出力のタイプに影響を与えるので、詳細については、42 ページの "オーディオ出力の仕様"をご参照ください。

デジタル出力

[PCM ステレオ]（HDMI、同軸）

本機のHDMI 出力端子、またはデジタル音声出力端子を、2チャンネルステレオのデジタルデコーダ機器に接続する場合に選択します。

[PCM Multi-Ch] (HDMI 接続のみ)

本機のHDMI 出力端子をマルチチャンネルのデジタルデコーダ機器に接続する場合に選択します。

[DTS再エンコード]（HDMI、同軸）

本機の HDMI 出力 端子または デジタル音声出力 端子を、DTS デコーダ搭載機器に接続する場合に選択します。

[ビットストリーム]（HDMI、同軸）

本機の デジタル音声出力 端子またはHDMI出力 端子を、リニアPCM、ドルビーデジタル、ドルビーデジタル プラス、ドルビーTrueHD、DTS、DTS-HD デコーダ搭載機器に接続する場合に選択します。

> **注意**
>
> - [デジタル出力]オプションが[PCMマルチチャンネル]設定されている際に、PCMマルチチャンネル情報が、EDIDでHDMIデバイスから検出されない場合には、音声はPCMステレオとして出力します。

サンプリング周波数 （デジタル音声出力）

[192 kHz]

お持ちの AV レシーバーまたはアンプが 192 kHz 周波数に対応可能な場合に選択します。

[96 kHz]

お持ちのAV レシーバーまたはアンプが 192 kHz周波数に対応しない場合に選択します。この周波数を選択するとお持ちのシステムがデコードできるように、すべての 192 kHz周波数を96 kHzに自動変換します。

[48 kHz]

お持ちのAV レシーバーまたはアンプが 192 kHz、96 kHz の周波数に対応しない場合に選択します。この周波数を選択すると、お持ちのシステムがデコードできるように、すべての192 kHz、96 kHz の周波数を48 kHz に自動変換します。

お持ちのAV レシーバー、またはアンプの取扱説明書をご覧になり、対応可能な仕様かをご確認ください。

DRC (ダイナミックレンジコントロール)

この機能によって、クリアな音声を損なうことなく、低音量で動画をお楽しみいただけます。

[オフ]

この機能がオフになります。

[オン]

ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、またはドルビーTrueHDのダイナミックレンジが圧縮されます。

[オート]

ドルビーTrueHDオーディオ出力のダイナミックレンジが自動的に指定されます。また、ドルビーデジタルとドルビーデジタルプラスのダイナミックレンジは、[オン]モードの場合と同様に選択されます。

> **注意**
>
> DRCの設定は、ディスクが挿入されていないか、または装置が完全に停止モードになっていない時のみ変更することができます。

[ロック] メニュー

[ロック]設定は、ブルーレイディスクおよびDVDの再生の場合のみ有効です。

[ロック] 設定の機能を変更するには、お客様があらかじめ設定した 4桁の暗証番号を入力します。パスワードを入力していない場合は、最初に設定します。4 桁のパスワードを 2 回入力してから、決定(⦿) を押して 新しいパスワードを作成します。

パスワード

新しいパスワードを作成します。

[なし]

4 桁のパスワードを 2 回入力してから,
決定(⦿)を押して 新しいパスワードを作成します。

[変更]

設定されているパスワードを入力して
決定(⦿)を押します。4 桁のパスワードを 2 回入力してから 決定(⦿) を押して 新しいパスワードを作成します。

パスワードを忘れてしまった場合

ご自分のパスワードを忘れた場合は、次のステップでパスワードを解除することができます。

1. 本機にディスクが入っている場合は取り出します。
2. [設定] メニューから [パスワード] の項目を選択します。
3. 数字ボタンで「210499」と入力します。パスワードが解除されます。

注意

決定(⦿)を押す前に間違えた場合は、クリアを押して正しいパスワードを入力します。

DVD視聴制限レベル

ディスクのコンテンツにより年齢制限が設定されている DVD の再生をブロックします。(すべてのディスクに制限が付けられているわけではありません)。

[視聴制限 1-8]

視聴制限1（1）は、ほとんどが制限され、制限（8）は最小限の制限を備えています。

[ロック解除]

[ロック解除] を選択すると、視聴制限は動作せず、すべてのディスクが再生されます。

Blu-ray ディスク視聴制限レベル

BD-ROM 再生の年齢制限を設定します。数字ボタンで BD-ROM を鑑賞できる年齢制限を入力します。

[255]

すべての BD-ROM を再生できます。

[0-254]

BD-ROM に記録された年齢制限によって
BD-ROM の再生を禁止します。

注意

[Blu-rayディスクレート]は、高級レートコントロールが設定されているブルーレイディスクにのみ適用されます。

エリアコード

38ページのリストに合わせて、DVD ビデオディスクの年齢制限を指定する基準のエリアコードを入力してください。

3 システム設定

[その他] メニュー

DivX® VOD

DIVX ビデオについて: DivX® は Rovi Corporation の子会社であるDivX LLCのデジタルビデオ圧縮技術です。本機はDivX ビデオ再生用のDivX Certified® 製品です。DivX 形式のビデオにを変換するソフトウェアツールについては、divx.comをご覧ください。

DIVXビデオオンデマンドについて：購入したDivXビデオオンデマンド (VOD) の内容を再生するための登録が必要です。登録コードを取得するには、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションを参照してください。登録方法の詳細については、vod.divx.comにアクセスしてください。

[登録]

本機の登録コードを表示します。

[登録削除]

本機を譲渡または破棄するときに、コードを無効にします。

注意

本機の登録コードでDivX（R）VODからダウンロードされたすべての動画は、本装置で再生することができます。

オートパワーオフ

スクリーンセーバーは、停止モードで約 5 分後に表示されます。オートパワーオフを「オン」にすると、スクリーンセーバーが表示された約 20 分後に自動的に電源が切れます。オートパワーオフをオフにすると、再び操作を始めるまでスクリーンセーバーが表示され続けます。

初期化

[初期設定]

本機を工場出荷時の設定にリセットすることができます。

[Blu-rayストレージ消去]

USB機器で接続されたBlu-rayコンテンツを消去します。

ソフトウェア

[情報]

ソフトウェアの最新バージョンを表示します。

一般的な再生

[HOME]（ホーム）メニューの使用

ホーム (🏠)を押すと、ホーム メニューが表示されます。◄ / ► を使ってカテゴリーを選択し、決定(⦿)を押します。

1	**[動画]** - ビデオコンテンツを再生します。
2	**[写真]** - 写真コンテンツを再生します。
3	**[音楽]** - 音楽コンテンツを再生します。
4	**[設定]** - システム設定を調整します。

ディスクを再生する

BD **DVD** **ACD** **AVCHD**

1. ⏏ (開/閉) を押して、ディスクをディスクトレイに置きます。
2. ⏏ (開/閉) を押してディスクトレイを閉めます。

   ほとんどのオーディオ CD、BD-ROM、および DVD-ROM ディスクの再生を自動的に開始します。
3. ホーム (🏠) を押します。
4. ◄ / ► で [動画] または [音楽] を選択してから 決定(⦿)を押します。
5. ▲/▼ を使って[Blu-ray ディスク], [DVD], [VR] または [Audio] のオプションを選択し、 決定(⦿) を押します。

注意

- BD-ROMのタイトルに応じて、適切に再生するためにUSB機器の接続が必要になる場合があります。
- ファイナライズされていないDVD-VRフォーマットディスクは、本機で再生することはできません。
- DVD-VRディスクの種類によっては、CPRM形式で記録されたデータで作られているものがあります。本機はCPRM形式のディスクに対応していますが、全ての製品に対して動作を保証するものではありません。

ディスク/USB機器のファイルを再生する

MOVIE **MUSIC** **PHOTO**

本機は、データディスクまたはUSB機器に記録されている動画、音楽、写真ファイルを再生できます。

1. データディスクをディスクトレイに挿入するか、またはUSB機器を接続します。
2. ホーム (🏠) を押します。
3. ◄ / ► で[動画] [写真]または [音楽] を選択してから決定を(⦿) 押します。
4. ▲/▼ を使って[データ], または [USB] のオプション を選択し、 決定(⦿) を押します。
5. ▲/▼/◄ / ►で再生するファイルを選択してから ►(再生) または決定(⦿) を押します。

4 操作

ビデオおよびオーディオ コンテンツの基本操作

再生を停止するには

再生中に ■ (停止) を押します。

再生を一時停止するには

再生中に II (一時停止) を押します。► (再生) を押すと、レジューム再生を開始します。

フレームバイフレームを再生するには（ビデオ）

映画の再生中に II (一時停止) を押します。
II (一時停止) を繰り返し押して 1 フレームずつコマ送りします。

早送り/早戻しをするには

再生中に ◄◄ または ►► を押すと、早送り/早戻し再生になります。

◄◄ または ►► を繰り返し押すと、早送り/早戻し再生のスピードを変えることができます。

スローモーションで再生するには

再生の一時停止中に、►► を繰り返し押してスローモーションのスピードを変えて再生します。

次や前のチャプター/トラック/ファイルにスキップするには

再生中に I◄◄ または ►►I を押すと、次のチャプター/トラック/ファイルに移動したり、再生中のチャプター/トラック/ファイルの先頭に戻ることができます。

I◄◄ を素早く2回押すと、前のチャプター/トラック/ファイルに戻ります。

写真コンテンツの基本操作

スライド ショーを表示するには

スライド ショーを開始するには、► (再生) を押します。

スライド ショーを停止するには

スライド ショーの途中で ■ (停止) を押します。

スライド ショーを一時停止するには

スライド ショーの途中で II (一時停止) を押します。スライド ショーを再開するには、► (再生) を押します。

次/前の写真へスキップするには

全画面で写真を表示しているときに、◄ または ► を押して、前または次の写真に移動します。

ディスクメニューの使用

BD **DVD** **AVCHD**

ディスクメニューを表示するには

ディスクの仕様により、読み込みの直後にメニュー一画面が最初に表示されることがあります。再生中にディスク メニューを表示するには、ディスクメニュー を押します。

▲/▼/◄/►ボタンを使用 して、メニュー項目を移動します。

ポップアップメニューを表示するには

一部のBD - ROMディスクには、再生中に表示されるポップアップメニューが含まれています。

再生中に タイトル/ポップアップ を押すと、▲/▼/◄/► ボタンを使用して、メニュー項目を移動できます。

さまざまな再生

リピート再生

BD **DVD** **AVCHD** **ACD** **MUSIC** **MOVIE**

再生中にリピート (⮂) を繰り返し押して、リピートモードを選択します。

Blu-rayディスク/DVD/動画ファイル

A- – 指定した区間が繰り返しリピート再生されます。

チャプター – 現在再生中のチャプターが繰り返し再生されます。

タイトル – 現在再生中のタイトルが繰り返し再生されます。

すべて – すべてのトラックやファイルが繰り返し再生されます。

通常の再生に戻るには、リピート (⮂) を繰り返し押して [オフ] を選択します。

オーディオ CD/音楽ファイル

Track – 現在再生中のトラックが繰り返し再生されます。

All – すべてのトラックやファイルがに繰り返し再生されます。

– トラックやファイルがランダムに再生されます。

All – すべてのトラックやファイルがランダムに繰り返し再生されます。

A-B – 指定した区間が繰り返しリピート再生されます。(オーディオCDのみ)

通常の再生に戻るには、クリア を押してください。

注意

- チャプター/トラックの再生中に ►►I (スキップ) を押すと、リピート再生は取り消されます。
- この機能はディスク、タイトル、ファイルタイプによっては作動しない場合があります。

4 操作

区間指定のリピート

BD DVD AVCHD ACD MOVIE

本機は指定した区間をリピート再生することができます。

1. 再生中にリピート(⮂) を押して、リピート再生を開始したい位置で[A-]を選択します。
2. リピート再生を終了したい位置で 決定(◉) を 押します。指定した区間がリピート再生されます。
3. 通常の再生に戻るには、リピート (⮂) を繰り返し押して [オフ] を選択します。

注意

- 3秒以内の短い区間は指定できません。
- この機能が動作しないディスクやタイトルがあります。

コンテンツ情報を見る

MOVIE

本機でコンテンツ情報を表示することができます。

1. ▲/▼/◀/▶でファイルを選択します。
2. かんたんメニュー (□) を押してオプションメニューを表示します。
3. ▲/▼ボタンで [情報] 項目を選択してから、決定(◉)を押します。

   ファイルの情報が画面に表示されます。

ビデオの再生中にタイトル/ポップアップを押すと、ファイル情報を表示できます。

注意

画面に表示されている情報は、実際のコンテンツ情報と比較して正しくない場合があります。

コンテンツリストの表示を変更する

MOVIE MUSIC PHOTO

[動画]、[音楽]または[写真]メニューで、コンテンツリストの表示形式を変更することができます。

方法 1

コンテンツ一覧が表示された画面で、リモコンの赤ボタンを繰り返し押します。

方法 2

1. コンテンツ一覧が表示された画面で、かんたんメニュー (□) を押してオプションメニューを表示します。
2. ▲/▼ で［ビューを変更］項目を選択します。
3. 決定(◉) を押して コン テンツリストの表示を変更します。

字幕ファイルを選択する

MOVIE

映画ファイルと字幕ファイルのファイル名が異なる場合は、映画を再生する前に[動画]メニューから字幕ファイルを選択する必要があります。

1. [動画]メニューで、再生したい字幕ファイルを選択するには ▲/▼/◄/► を使用します。
2. 決定(⦿)を押します。

字幕ファイルの選択を解除するには、再度決定(⦿) を押します。映画ファイルを再生する際に、選択した字幕ファイルが表示されます。

! 注意

再生中に ■ (停止) を押すと、字幕の選択がキャンセルされます。

写真表示のオプション

PHOTO

フルスクリーンでの写真の表示中にさまざまなオプションを使用することができます。

1. フルスクリーンで写真を見ながら、オプションメニューを表示するには、かんたんメニュー (☐) を押してください。
2. ▲/▼ を使ってオプションを選択します。

1 **現在の写真/写真の総数** - ◄/► で前/次の写真を表示します。

2 **スライドショー** - スライドショーを開始または一時停止するには 決定(⦿) を押します。

3 **音楽を選択** – スライドショーの BGM を選択します。(30ページ)

4 **音楽** – BGMをスタートまたは一時停止するには決定(⦿) を押します。

5 **回転** - 写真を時計回りに回転させるには 決定(⦿) を押します。

6 **ズーム** - [ズーム]メニューを表示させるには、決定(⦿) を押します。

7 **効果** - スライドショーの写真間のトランジションエフェクトを選択するには、◄/► を使用します。

8 **スピード** - スピードースライドショーのスピードを調整するには、◄/► を使用します。

3. オプションメニューを終了するには、戻る (⮌) を押します。

音楽を聴きながらスライドショーを楽しむ

PHOTO

音楽ファイルを聴きながら、写真ファイルを表示することができます。

1. フルスクリーンで写真を見ながら、オプションメニューを表示するには、かんたんメニュー (☐) を押してください。
2. [音楽の選択]メニューを選択するために▲/▼を 使用 し[音楽の選択]メニューオプションを表示するために 決定(◉) を押します。
3. デバイスを選択するには▲/▼を使用し決定(◉)を押します。
4. 再生したいファイルまたはフォルダーを選択するには▲/▼を使用します。

上位フォルダーを表示させるには、⮌を選択し、決定(◉)を押します。

5. ► ボタンで [OK] を選択し、決定(◉)で、ファイルの選択を完了します。

コンテンツ情報を確認する

コンテンツのあらゆる情報や設定を表示したり調整したりすることができます。

コンテンツ情報を画面に表示する

BD **DVD** **AVCHD** **MOVIE**

1. 様々な再生情報を表示するには、再生中にかんたんメニュー (☐) を押します。

1	**タイトル** – 現在再生中のタイトル番号/総タイトル数
2	**チャプター** – 現在再生中のチャプター番号/総チャプター数
3	**時刻** – 再生経過時間/総再生時間
4	**オーディオ** – 選択されている音声言語やチャンネル
5	**字幕言語** – 選択されている字幕言語
6	**アングル** – 選択されているアングル数/総アングル数
7	**縦横比** – 選択されているテレビの画面比率
8	**ピクチャーモード** – 選択されている画像モード

2. ▲/▼を使用してオプションを選択します。
3. ◀/▶で選択されている項目の値を調整します。
4. オンスクリーン表示を終了するには、戻る(↩)を押します。

! 注意

- ボタンを2、3 秒内に押して操作しないと、クイックメニューは消えます。
- タイトル番号を選択できないディスクがあります。
- 選択できる項目はディスクやタイトルによって異なる場合があります。
- インタラクティブ・ブルーレイディスクを再生する場合、設定情報がスクリーンに一部表示されますが、変更することは禁じられています。

タイムサーチ再生

BD DVD AVCHD MOVIE

1. 再生中に かんたんメニュー (□) を押します。タイムサーチボックスでは、再生経過時間を示しています。
2. [時刻] 項目を選択し、開始時間を左から右に、時間、分、秒と順に入力します。

   例えば、2 時間 10 分 20 秒のシーンをサーチする場合は、「21020」と入力します。

   前方または後方に60秒スキップするには ◀/▶ を押します。
3. 選択した時間から再生を開始するには 決定(◉) を押します。

! 注意

ディスクまたはタイトルによっては、この機能が動作しない場合があります。

字幕言語を選択する

BD DVD AVCHD MOVIE

1. 再生中に、かんたんメニュー (□) を押し、オンスクリーンディスプレイを表示します。
2. [字幕]オプションを選択するには ▲/▼ を使用します。
3. 字幕言語を選択するには、 ◀/▶ を使用します。
4. オンスクリーン表示を終了するには、戻る(↩) を押します。

! 注意

- ディスクによっては、オーディオの選択がディスクメニューからしかできないものがあります。この場合は、タイトル/ポップアップまたはディスクメニューボタンを押して、ディスクメニューから適切な音声を選んでください。
- この字幕ボタンを押すことによって直接オンスクリーンディスプレイの[字幕](...)オプションを選択することができます。

音声を切り換える

BD DVD AVCHD MOVIE

1. 再生中に、かんたんメニュー (□) を押し、オンスクリーンディスプレイを表示します。
2. [オーディオ]オプションを選択するには ▲/▼ を使用します。
3. ご希望の音声言語は、オーディオ·トラック、またはオーディオチャンネルを選択するには ◄/► を使用します。

注意

- ディスクによっては、オーディオの選択がディスクメニューからしかできないものがあります。この場合は、タイトル/ポップアップまたはディスクメニューボタンを押して、ディスクメニューから適切な音声を選んでください。
- サウンドを切り換えた直後に、表示サウンドと実際のサウンドとの間に一時的なずれが生じる場合があります。
- BD-ROM ディスクでは、マルチチャンネルオーディオフォーマット(5.1CH または 7.1CH)は、[マルチCH] とOSD 画面に表示されます。
- オーディオボタンを押すことによって、直接 オンスクリーンディスプレイ上の[オーディオ](◯)))オプションを選択することができます。

別アングルの映像を見る

BD DVD

違うカメラアングルで録画されたシーンがディスクに含まれている場合は、再生中に別のカメラアングルに切り換えることができます。

1. 再生中に、かんたんメニュー (□) を押し、オンスクリーンディスプレイを表示します。
2. [アングル]オプションを選択するには ▲/▼ を使用します。
3. お好みのアングルを選択するには 、◄/► を使用します。
4. オンスクリーン表示を終了するには、戻る (↩) を押します。

テレビの縦横比を変更する

BD AVCHD MOVIE

再生中にテレビの画面比率設定を変更することができます。

1. 再生中に、かんたんメニュー (□) を押し、オンスクリーンディスプレイを表示します。
2. [テレビのアスペクト比]オプションを選択するには ▲/▼ を使用します。
3. ご希望のコードオプションを選択するには、◄/► を使用します。
4. オンスクリーン表示を終了するには、戻る (↩) を押します。

注意

OSD かんたんメニューで[縦横比]の値を変更しても、[設定]メニューの[縦横比]項目の値は変わりません。

4 操作

字幕コードページを選択する

MOVIE

字幕の文字が正しく表示されない場合は、次の手順で字幕コードページの設定を調整します。

1. 再生中に、かんたんメニュー (□) を押し、再生メニューを表示します。
2. [コードページ]オプションを選択するには▲/▼を使用します。
3. ご希望のコードオプションを選択するには、◀/▶を使用します。

4. オンスクリーン表示を終了するには、戻る (⮌) を押します。

画像モードを変更する

BD **DVD** **AVCHD** **MOVIE**

再生中に[ピクチャーモード]項目を変更することができます。

1. 再生中に、かんたんメニュー (□) を押し、オンスクリーンディスプレイを表示します。
2. [写真モード]オプションを選択するには▲/▼を使用します。
3. ご希望のコードオプションを選択するには、◀/▶を使用します。
4. オンスクリーン表示を終了するには、戻る (⮌) を押します。

[ユーザー設定]オプションを設定する

1. 再生中に、かんたんメニュー (□) を押し、オンスクリーンディスプレイを表示します。
2. [写真モード]オプションを選択するには▲/▼を使用します。
3. [ユーザー設定]オプションを選択するには、◀/▶を使用し決定(⦿)を押します。

4. [写真モード]オプションを調整するには▲/▼/◀/▶を使用します。

   [デフォルト]オプションを選択し、すべての映像調整値をリセットするために決定(⦿)を押します。

5. [閉じる]オプションを選択するには▲/▼/◀/▶を使用し、設定を終了するために決定(⦿)を押します。

オーディオCDの録音

オーディオCD から希望するトラックを1 つ、または全トラックをUSB機器に録音することができます。

1. USB 機器を本機前面にあるUSB 端子に差し込みます。
2. ⏏ (開/閉) を押して、オーディオ CD をディスクトレイに置きます。

   ⏏ (開/閉) を押してディスクトレイを閉めます。自動的に再生を開始します。
3. オプションメニューを表示するには、かんたんメニュー (□) を押します。
4. [CD録音]オプションを選択するには ▲/▼ を使用し、 決定(⦿)を押します。
5. メニューに録音したいトラックを選択するには ▲/▼ を使用し、決定(⦿) を押します。

   この手順を繰り返して、お望みの数のトラックを選択することができます。

全て選択	オーディオCD のトラックをすべて選択します。
オプション	ポップアップメニュー（128kbpsの、192kbpsのまたは320kbpsの）からのエンコードオプションを選択します。
戻る	録音を中止し、前の画面に戻ります。

6. ▲/▼/◄/►で[スタート]を選び、決定(⦿) を押します。
7. ▲/▼/◄/►で録音先のフォルダーを選択します。

新規フォルダーを作成する場合は、▲/▼/◄/►で[新規フォルダ]を選び、決定(⦿)を押し ます。

[OK]が選択されている間にバーチャルキーボードを使用してフォルダ名を入力し 決定(⦿)を押します。

8. [OK]を選択するには▲/▼/◄/►を使用し、オーディオCDの録音を開始するには 決定(⦿) を押します。

   録音を停止したい場合は、[取り消し]を選択します。
9. オーディオCDの録音が完了するとメッセージが表示されます。録音先のフォルダーで作成されたオーディオファイルを確認するには 決定(⦿) を押します。

注意

- 次の表には、例として、再生時間4 分のオーディオトラックを192 kbps のエンコードレートで音楽ファイルに録音した場合の平均的な録音時間（概算）を表示しています。

停止モード	再生中
1 分	4 分

- 実際の録音時間は、USB機器によって異なります。
- USB機器に録音する場合は、最低50 MB の空き容量があることをご確認ください。
- 正常に録音するには、オーディオの合計時間が20秒以上である必要があります。
- 録音中は、本機の電源を切ったり、接続されているUSB機器を抜いたりしないでください。

注意

本機の録音またはコピー機能は、個人および非営利目的のために提供されています。著作権で保護されているコンテンツを許可なく複製することは、著作権の侵害や不法行為が成立する場合があります。本機をそれらの目的で使用することは固く禁じられています。当社は、違法配信または営利目的でのコンテンツの不正使用について、一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

困ったとき

一般

症状	原因および解決策
電源が入らない。	• 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれているかをご確認ください。
ディスクの再生ができない。	• ディスクの種類、カラーシステム、リージョンコードを確認し、本機で再生可能なディスクであることをご確認ください。 • ディスクがディスクトレイ内に正しく置かれていることをご確認ください。 • ディスクの再生面に傷やほこりがある場合は、正常に再生できない場合があります。 • レーティング機能を解除するか、レーティングのレベルを変更してください。
アングルを変更できない。	• 再生中のDVDディスクに、複数のアングルが記録されていない場合、アングルを変更することはできません。
音楽/写真/映画ファイルを再生できない。	• 本機で再生できる形式のファイルであることをご確認ください。 • 本機が対応しているファイルコーデックであることをご確認ください。
リモコンが正常に動作しない。	• リモコンがリモコン受光部に向けられているか確認してください。 • 本機とリモコンの距離が離れていると、リモコンが動作しない場合があります。 • 本機とリモコンの間に障害物がないか確認してください。 • リモコンの電池を取り替えてください。
電源プラグが接続されているのに電源が入らない、または切れない。	次の方法で本機をリセットしてください。 • 電源コードをコンセントから抜き、5 秒以上待ってから再度差し込んでください。
本機が正常に動作しない。	

画像

症状	原因および解決策
画像が映らない。	• テレビ画面に本機からの画像が映るように、適切な入力モードをテレビ側で選択してください。 • テレビと本機とのケーブルの接続状態をご確認ください。 • 設定メニューのHDMIカラー設定が正しく設定されているかご確認ください。 • 本機で設定している解像度に、テレビが対応していない場合、画像が映らないことがあります。双方の機器が対応している解像度にそれぞれ変更してください。 • 本機のHDMI出力端子に接続された機器またはコンテンツが著作権保護に対応していることをご確認ください。
画像にノイズが現れる。	• 本機と接続されているテレビと異なるカラーシステムのディスクを再生した場合、画面にノイズが現れることがあります。 • 本機および接続されたテレビ側の解像度の設定をご確認ください。双方の機器が対応している解像度にそれぞれ変更してください。

ソフトウェアのアップデートについて

製品の機能を向上させたり、新しい機能を追加するために、本機のソフトウェアを最新バージョンに更新することができます。本機の最新のソフトウェアを取得するには（更新がある場合）、当社ホームページ（http://www.lg.com/jp）をご参照いただくか、または当社カスタマーサポートセンター（48ページ）にご相談ください。

付属のリモコンでテレビを操作する

以下のボタンで、本機と接続されているテレビを操作してください。

ボタン	操作
⏻ (テレビ 電源)	テレビの電源をオン/オフします。
チャンネル +/–	テレビの チャンネルを切り換えます。
音量 +/–	テレビの音量を調節します。
入力切換	テレビとテレビに接続されている機器との入力を切り換えます。

リモコンにお使いのテレビを設定する

付属のリモコンで、本機と接続されているテレビを操作することができます。以下のリストにお使いのテレビがある場合、メーカーコードを確認し、本機のリモコンに設定してください。

1. ⏻ (テレビ 電源) ボタンを押したままの状態で、数字ボタンを使ってテレビの製造メーカーコードを押します。

製造メーカー	コード番号
LG	1(初期設定)
シャープ	2, 3
東芝	4
パナソニック	5, 6
ソニー	7
日立	8
三菱	9

2. ⏻ (テレビ 電源) ボタンから手を放すと設定が完了します。

正しいメーカーコードを入力しても、お使いのテレビの機種よっては、全てもしくは一部のボタンが動作しない場合があります。なお、リモコンの電池を交換した際に、メーカーコードの設定も初期化されることがあります。その場合は、お手数ですが、もう一度メーカーコードを設定してください。

エリアコード一覧

以下のリストからエリアコードを選択してください。

エリア	コード	エリア	コード	エリア	コード	エリア	コード
アフガニスタン	AF	フィジー	FJ	モナコ	MC	シンガポール	SG
アルゼンチン	AR	フィンランド	FI	モンゴル	MN	スロバキア共和国	SK
オーストラリア	AU	フランス	FR	モロッコ	MA	スロベニア	SI
オーストリア	AT	ドイツ	DE	ネパール	NP	南アフリカ	ZA
ベルギー	BE	英国	GB	オランダ	NL	韓国	KR
ブータン	BT	ギリシャ	GR	オランダ領アンティル諸島	AN	スペイン	ES
ボリビア	BO	グリーンランド	GL	ニュージーランド	NZ	スリランカ	LK
ブラジル	BR	香港	HK	ナイジェリア	NG	スウェーデン	SE
カンボジア	KH	ハンガリー	HU	ノルウェー	NO	スイス	CH
カナダ	CA	インド	IN	オマーン	OM	台湾	TW
チリ	CL	インドネシア	ID	パキスタン	PK	タイ	TH
中国	CN	イスラエル	IL	パナマ	PA	トルコ	TR
コロンビア	CO	イタリア	IT	パラグアイ	PY	ウガンダ	UG
コンゴ	CG	ジャマイカ	JM	フィリピン	PH	ウクライナ	UA
コスタリカ	CR	日本	JP	ポーランド	PL	アメリカ合衆国	US
クロアチア	HR	ケニア	KE	ポルトガル	PT	ウルグアイ	UY
チェコ共和国	CZ	クウェート	KW	ルーマニア	RO	ウズベキスタン	UZ
デンマーク	DK	リビア	LY	ロシア 連邦	RU	ベトナム	VN
エクアドル	EC	ルクセンブルク	LU	サウジアラビア	SA	ジンバブエ	ZW
エジプト	EG	マレーシア	MY	セネガル	SN		
エルサルバドル	SV	モルディブ諸島	MV				
エチオピア	ET	メキシコ	MX				

言語コード一覧

以下のリストからご希望の言語コードを確認し、初期設定に入力してください。
[ディスク音]、[ディスク字幕言語]、[ディスクメニュー言語]

言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード
アファル語	6565	フランス語	7082	リトアニア語	7684	シンド語	8368
アフリカーンス語	6570	フリジア語	7089	マケドニア語	7775	シンハリ語	8373
アルバニア語	8381	ガリシア語	7176	マダガスカル語	7771	スロバキア語	8375
アムハラ語	6577	グルジア語	7565	マライ語	7783	スロベニア語	8376
アラブ語	6582	イツ語	6869	マラヤーラム語	7776	スペイン語	6983
アルメニア語	7289	ギリシャ語	6976	マオリ語	7773	スーダン語	8385
アッサム語	6583	グリーンランド語	7576	マラッタ語	7782	スワヒリ語	8387
アイマラ語	6588	グアラニー語	7178	モルダビア語	7779	スウェーデン語	8386
アゼルバイジャン語	6590	グジャラト語	7185	モンゴル語	7778	タガログ語	8476
バシキール語	6665	ハウサ語	7265	ナウル語	7865	タジク語	8471
バスク語	6985	ヘブライ語	7387	ネパール語	7869	タミール語	8465
ベンガル語	6678	ヒンディー語	7273	ノルウェー語	7879	テルグ語	8469
ブータン語	6890	ハンガリー語	7285	オーリヤ語	7982	タイ語	8472
ビハール語	6672	アイスランド語	7383	パンジャブ語	8065	トンガ語	8479
デルターニュ語	6682	インドネシア語	7378	パシュト語	8083	トルコ語	8482
ブルガリア語	6671	インターリングア語	7365	ペルシャ語	7065	トルクメン語	8475
ビルマ語	7789	アイルランド語	7165	ポーランド語	8076	トウィ語	8487
ベロルシア語	6669	イタリア語	7384	ポルトガル語	8084	ウクライナ語	8575
中国語	9072	日本語	7465	ケチュア語	8185	ウルドゥー語	8582
クロアチア語	7282	カンナダ語	7578	ラエト語	8277	ウズベク語	8590
チェコ語	6783	カシミール語	7583	ルーマニア語	8279	ベトナム語	8673
デンマーク語	6865	カザフ語	7575	ロシア語	8285	ボラビュック語	8679
オランダ語	7876	キルギス語	7589	サモア語	8377	ウェールズ語	6789
英語	6978	韓国語	7579	サンスクリット語	8365	ウォロフ語	8779
エスペラント語	6979	クルド語	7585	スコットランド高地ゲール語	7168	ホサ語	8872
エストニア語	6984	ラオス語	7679	セルビア語	8382	イディッシュ語	7473
フェロー語	7079	ラテン語	7665	セルボ クロアチア語	8372	ヨルバ語	8979
フィジー語	7074	ラトビア語	7686	ショナ語	8378	ズールー語	9085
フィンランド語	7073	リンガラ語	7678				

商標およびライセンス

Blu-ray Disc™, Blu-ray™, BONUSVIEW™ およびこれらのロゴは、Blu-ray Disc Associationの商標です。

「DVD ロゴ」は、DVD フォーマットロゴライセンス (株) の商標です。

JavaはOracleおよび/またはその関連会社の商標です。

HDMIとHDMI高解像度マルチメディアインターフェース、そしてHDMIロゴは米国やその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。

x.v.Colorはソニー株式会社の商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。ドルビー及びダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

米国特許5.956.674, 5.974.380, 6.487.535 およびその他の国における特許（出願中含む）に基づき製造されています。DTSおよびDTS 2.0+Digital OutはDTS社の登録商標です。DTSロゴおよび記号はDTS社の商標です。©DTS, Inc.All Rights Reserved.

「AVCHD」 および「 AVCHD」 ロゴは
パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

「AVCREC」および「AVCREC」ロゴはBlu-rayディスク協会の商標です。

DivX®、DivX Certified®、および関連ロゴはDivX, Incの商標であり、ライセンスの下に使用されます。

Cinavia からのお知らせ

この製品はCinavia技術を利用して、商用製作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.comのCinaviaオンラインお客様センターで提供されています。Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center. P.O.Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。

この製品はVerance Corporationのライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国第7369677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。

オープン ソース ソフトウェアの通知

GPL、LGPL、およびその他のオープンソースライセンスに基づいたソースコードと関連のライセンス条項、免責、および著作権表示については、http://opensource.lge.comよりご確認いただけます。

オーディオ出力の仕様

端子と設定 / 種類	同軸 (DIGITAL AUDIO OUT)*3		
	PCM ステレオ	DTS 再エンコード *4	ビットストリーム
Dolby Digital	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
Dolby Digital Plus	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
Dolby TrueHD	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
DTS	PCM 2ch	DTS	DTS
DTS-HD	PCM 2ch	DTS	DTS
Linear PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch
Linear PCM 5.1ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch
Linear PCM 7.1ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch

端子と設定 / 種類	HDMI OUT			
	PCM ステレオ	PCM マルチチャンネル	DTS S再エンコード *4	ビットストリーム *1 *2
Dolby Digital	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
Dolby Digital Plus	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital Plus
Dolby TrueHD	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby TrueHD
DTS	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	DTS
DTS-HD	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	DTS-HD
Linear PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Linear PCM 2ch
Linear PCM 5.1ch	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	Linear PCM 5.1ch
Linear PCM 7.1ch	PCM 2ch	PCM 7.1ch	DTS	Linear PCM 7.1ch

*1 [デジタル出力]オプションが [ビットストリーム]に設定されている場合は、副音声、対話の音声が出力ビットストリームに含まれていない可能性があります。（LPCMコーデックは、常に副音声と対話の音声が含まれています。）

*2 [デジタル出力]オプションは[ビットストリーム]に設定されていても､接続されているHDMIデバイスのデコード能力に応じて本機は自動的にHDMIオーディオを選択します。

*3 PCM オーディオ出力では、デジタル音声出力端子からのサンプリング周波数は96 kHzに制限されています。

*4 [HDMI] または [デジタル出力] 項目が [DTS再エンコード] に設定されていると、オーディオ出力は 48 kHz と5.1 Ch に制限されます。[HDMI] または [デジタル出力] 項目が [DTS再エンコード] に設定されていると、DTS 再エンコード オーディオはBD-ROMディスクから出力され、元のオーディオはその他のディスク（[ビットストリーム]など)に出力されます。

- HDMI OUT端子が高速HDMI™Cable とドルビーデジタルプラス/ドルビーTrueHDのテレビに接続し､HDMIジャック出力端子から出力されている場合は､デジタル音声出力端子は（HDMIおよびデジタルオーディオ出力の時）"PCM2ch"に制限されています。

- オーディオは、オーディオCDの再生の間、MP3/WMAファイルのPCM48 kHz/16ビットPCMと44.1kHz/16ビットとして出力されます。
- アンプ（またはAVレシーバー）は[設定]メニューのオプションで[デジタル出力]と[サンプリング周波数] を使用して受け入れるデジタル·オーディオ出力および最大サンプリング周波数を選択する必要があります。（22ページ）
- [デジタル出力]オプションが[ビットストリーム]に設定されている場合、デジタルオーディオの接続で（DIGITAL AUDIO OUTまたはHDMI OUT）、BD-ROMのディスクのメニューボタンの音を聞くことはできません。
- デジタル出力のオーディオ形式が、受信機の性能と一致しない場合は、受信機はノイズ音を再生するか全く音がしません。
- デジタルマルチチャンネルデコーダが装備されている場合のみ、デジタル接続を介して、マルチチャネルデジタルサラウンドサウンドを再生することができます。

仕様

一般	
電源（DC 12V IN端子）	12 V ⎓ 1.0 A
ACアダプター	WA-12M12FU
外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	約 270 mm x 39 mm x 198 mm
本体質量	約 0.95 kg
許容周囲温度	5 °C - 35 °C
許容相対湿度	5 % - 90 %

出力	
HDMI 出力 (映像/音声)	19ピン（タイプA、HDMI™ Connector)
デジタル音声出力 (同軸) 端子	0.5 V (p-p)、75 Ω、ピンジャック 1系統

システム	
レーザー	半導体レーザー
波長	405 nm / 650 nm
信号システム	標準 NTSC カラーテレビシステム
バス電源（USB）	DC 5 V ⎓ 500 mA

- 設計や仕様は予告なしに変更する場合があります。

お手入れについて

使用上のご注意

機器を輸送するとき

製品の出荷カートンと梱包材は保管してください。本機を輸送する必要が生じたときは、破損を避けるために、工場出荷時に梱包されていたように再梱包してください。

機器のお手入れ

本機のお手入れには、乾いた柔らかい布を使用してください。表面がかなり汚れている場合は、薄めた洗剤液で軽く湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。アルコールやベンジン、シンナーなどの強い溶剤は、機器の表面を傷つける恐れがありますので使用しないでください。

外部表面をクリーンな状態に保つ には

- 本機のそばで殺虫剤スプレーなどの揮発性の液体を使用しないでください。
- 強く拭き取ると表面を傷つけることがあります。
- ゴムやプラスチック製品を長時間本機に触れたままにしないでください。

機器のメンテナンス

光ピックアップレンズやディスクドライブ部分が汚れたり消耗したりすると、画質が低下する可能性があります。詳細についてはカスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

ディスクについてのご注意

ディスクのお取り扱い

- ディスクの再生面を手で触れず、指紋がつかないように、ディスクの両端を持ってください。
- 再生面には紙やテープなどを絶対に貼らないでください。
- ディスクのご使用後はケースに入れて保管してください。
- ディスクを直射日光に当たる所や温度が高い所には置かないでください
- ディスクを直射日光の当たる車内などに放置ないでください。

ディスクのお手入れ

指紋や誇りによるディスクの汚れは、画質の乱れや音質の低下の原因になります。再生する前に、乾いた柔らかい布でディスクの中央から外側に向かって拭いてください。

アルコールやベンジン、シンナー、市販のクリーナー、または古いビニールレコード用の静電気防止スプレーなどの強い溶剤は使用しないでください。

修理の受付・操作・故障に関するお問合せ窓口

LG Electronics Japan (株) カスタマーサポートセンター

（フリーダイヤル） **0120-813-023**

携帯電話・PHSからも御利用いただけます

受付時間　　月～金曜日　9:00～20:00
土・日曜日 祝日9:00～18:00（年末年始を除く）
IP電話など、上記番号がご利用いただけない場合
TEL03-5675-7323　FAX03-5675-7335

修理に関するご案内

「故障かな？」と思ったら、取扱説明書を再度確認していただき、直らない場合には弊社まで修理をご依頼ください。

保証書に「出張修理」と明記してあるものや、冷蔵庫・洗濯機・エアコン・大型テレビなどの大型家電製品は出張修理をおこないます。
弊社カスタマーセンターまでご依頼ください。
＜持込修理依頼方法＞
お買上げの販売店様に製品を持込んでいただくか、カスタマーサポートセンターまでご連絡ねがいます。

LG Electronics Japan 株式会社

〒107-8512　東京都港区赤坂2-17-22
赤坂ツインタワー本館9階